

記入例

※ 黒ボールペン(黒万年筆)を用いて記入。
 ※ 用紙は【 白色 】を用いること。

審査申込書 (級位・五段以下用)

公益財団法人全日本弓道連盟 会長 殿

申込日 平成31年 3月 2日

ふりがな 氏名	やまだ 山田	たろう 太郎	男	昭和 平成	60年 8月 10日 日生	審査当日：満 33才	
住所	〒123-4567 埼玉 〇〇市〇〇町1-2-3	自宅電話	携帯電話 (048)	123	-	4567	
受審する 審査種別	無指定	現在の 級位	級	昭和 平成	年 月 日 認許	於：() 審査	
	参 級の部	現在の 段位	式 段	昭和 平成	29年 11月 19日 認許	於：(埼玉第5回(熊谷)地方) 審査	
区分 (何れかに○印)	A 一般	B 大学生・生徒(小・中・高)	学校名：	〇〇市立〇〇中学校 (2年)			
弓歴		講習会受講歴		入賞歴(全国規模の大会が対象)			
元号	年	月	内容	元号	年	月	内容
平成	27	11	(〇〇(市)弓道教室) で弓道始める	平成	28	6	〇〇支部講習会
				平成	28	9	〇〇支部講習会
平成	27	12	〇〇(市)弓道連盟 入会	平成	28	11	〇〇(所属)弓道講習会
				平成	29	5	〇〇支部講習会
平成	31	3	現在 (〇士▽段〇〇〇〇) 師範に 師事している。				地連・支部・団体・学校等の役員歴
昇級・昇段歴(年月を記入)							
二 級	平成28年	2月	初段	平成28年	5月		
級	年	月	式段	平成29年	11月		
級	年	月	参段	年	月		
指導者等の資格(他競技の資格含)							
休会の期間：事由()の為 年 月から 年 月まで休会							
保護者承認 高校生以下は必須	山田 親太郎		緊急連絡先	048 (123) 4567			
支部長承認 学校責任者承認							
上記の者の受審を認めます。							
地連名		埼玉県弓道連盟 県央支部長			埼玉県弓道連盟		
会長名		会長 本橋民夫			省 公 略 印		

注・受審者は太線枠内の事項について記載のこと。
 ・虚偽の記載ある場合には、無効とする。
 ・自筆原本を提出すること。
 ・楷書で記載すること。 ※よく読んで下さい!

受付1	受付2	受付3(全弓連)
〇〇支部		
□□弓連		

審査種別	参段の部
審査名称	埼玉第2回(日高)地方審査会
審査施行日	平成 31年 5月 12日
会場名	日高市文化体育館弓道場
受審者連絡欄 (立射など)	立射希望(右膝関節障害)
氏名	山田 太郎
会員ID	1 2 3 4 5 6 7

審査申込書の記入要領 (級位・五段以下用)

平成30年11月3日改訂

- * 所定用紙(全弓連HP、用紙は白)以外による審査申込は受けられない。
- * 受付期限は厳守のこと。
- * 機関紙などを見て申し込む場合は開催県連申込締切日が判らないので、各自問い合わせをし、その審査要領を入手添付して、申込手続きをする。(本人→道場担当→支部担当→県連担当→開催地連)
- * 審査申込書の(注)欄を確認して記入する。
- * 黒色ボールペン(黒色インクの万年筆)を用いて全て楷書で自筆のこと。コピーはNG。
- * 全てのゴム印は黒色スタンプを使用する。(青色はNG)
- * 審査会は、全日本弓道連盟及び国際弓道連盟の加盟団体の会員でなければ受審できない。
- * 外国人の場合は、弓歴欄に紹介者名を記入する。その紹介者は、日本語の理解度及び使用可能な外国語について確認し、必要があれば受審者連絡欄に朱書きで「〇〇語通訳希望」と記載する。
- * 申込日は、本書を各道場受付担当者に提出する日付で記入する。
- * 氏名は会員登録時の文字で記入し、この文字で認許証書を発行する。(登録名文字の変更は所定の手続きをする)
- * 氏名欄には必ず押印する。但し、外国人の場合は押印なしのサインでも良い。
- * 住所は正しく記入する。電話番号等も忘れずに記入する。
- * 審査種別の「無指定」の欄は横二重線で消す。埼玉連の審査会では「無指定」の方式はとっていない。段位は、「初・式・参・四・五」、級位は「一・二・三」等で表示する。
- * 現在の段級位は、認許年月日を正確に記入し、審査会名も記入(例：埼玉第5回(熊谷)地方)する。初段受審の場合で、級位を取得していない場合は空欄とする。級位取得者は必ず級位を記入する。記入方法は「段」・「級」の該当を○で囲み記入する。級位を受審する場合は、上記の初段の場合に準じて記入する。
- * 一般区分の受審者は、Aの区分に○をする。但し一般区分の学生・生徒は、学校種別と学年を記入する。
 - ・学校種別と学年は審査当日で記入する。
 - ・4月審査会の申込書を提出する時点で中学3年生又は高校3年生である場合は受審できない。
 - ・大学所属の会員は一般審査と学生審査の両方受審できる。高校所属の会員は一般審査は受審できない。
- * 弓歴は、入門時及び現在の状況を中心に記入し、その間の移動等他の欄に該当しない事項があれば記入する。
- * 「昇級・昇段歴」は、該当欄に年月を記入する。級位取得があれば級位、級位取得年月も記入する。
- * 講習会受講歴は、過去5年以内を対象に、支部主催以上、または県連指導員による道場主催講習会を記入する。
- * 入賞歴は全国規模の大会入賞について簡潔に記入する。
- * 役員歴は、市町村弓連以上の役員等を記入する。(欄の大きさを考え、上位のものを簡潔に記入する。)
- * 指導者等の資格は、日本スポーツ協会公認スポーツ指導者等の資格を記入する。
- * 保護者承認は、高校生以下必須となっているので必ず署名・捺印する。
- * 一般道場所属の受審者は支部長の承認が必要。大学弓道部所属の受審者は学校責任者の承認が必要。
- * 右下太枠内
 - ・審査種別は、上記「受審する審査種別」を記入する。
 - ・審査会名称は、要項等に従って記入する。(例：埼玉第4回(秩父)地方審査会、[埼玉]関東地域連合審査会)
 - ・審査施行日及び会場名は、要項等に従って間違いのないよう記入する。
 - ・受審者連絡欄(立射など)は、「立射希望」などと朱書きし、その事由を明記(例：〇〇部障がい)する。また、坐射で受審するが何らかの障がいがあり、必要があればその旨「坐射〇〇部障がい」等と記載してもよい。
 - ・受審者連絡欄に障がい事項等記載した場合は、所属長が発行する証明書を添付する。同じ障がい継続する場合は毎回提出する必要はない。
 - ・会員IDは、「全弓連登録会員ID」を算用数字で正しく記入する。
- * 「受付1」欄には「支部名」及び「道場名(略名)」のゴム印を押印する。